

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	小児脳動静脈奇形の再出血に関する研究
② 実施予定期間	承認後 ～ 2023年12月31日
③ 対象患者	1990年1月1日から2019年12月31日に聖マリア病院にて、小児脳動静脈奇形からの出血脳に対する治療を受けられた患者さん。
④ 対象期間	1990年1月1日 ～ 2019年12月31日
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院
⑥ 対象診療科	脳神経外科
⑦ 研究責任者	氏名 松本 佳久 所属 脳神経外科
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、現病歴、既往歴、社会歴、家族歴、血管形状、治療内容、手術内容、合併症、長期経過と予後
⑨ 研究の概要	小児脳卒中の半数を脳出血が占めます。小児脳出血の大半は脳動静脈奇形からの出血です。直達術、血管内治療、放射線治療等が実施されます。完全摘出・閉塞が得られれば神経学的予後は良好とされます。しかし、完全摘出・閉塞を達成することが難しい場合も存在します。この場合、どのように経過観察を行うべきか、再出血を防ぐうえで、指標となる事象は未だ明確ではありません 小児脳動静脈奇形出血後の再出血予測予防を達成するべく、長期的な経過観察、成績等について検討を行い、より適切に今後の治療法の検討を行うことを目的とします。
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。
⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します
⑭ 研究の資金源	なし
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。

⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 脳神経外科科	
	電話	0942-35-3322